

平成29年度第1回

函館市榎法華地域審議会会議録

(平成29年7月25日)

函館市榎法華支所

平成29年度第1回函館市榎法華地域審議会会議録

開催日時	平成29年7月25日(火) 16時00分～16時35分		
開催場所	函館市榎法華支所 旧議場		
議題	1 前回の意見等の集約結果と取組状況について 2 平成28年度合併建設計画地域別事業実績報告について 3 地域振興全般に関する意見交換 4 その他		
資料	資料1 平成28年度第4回函館市榎法華地域審議会 意見・要望等に対する取組状況 資料2 平成28年度合併建設計画地域別事業実績一覧		
出席委員	◎木下恵徳委員 ○北村和彦委員 亀沢正史委員 小市光子委員 越崎賢弥委員 熊谷るみ子委員 五ノ井孝司委員 長崎賢一委員 中村千重子委員 中村麻友委員 毛綱珠枝委員 中村元勝委員 (◎会長 ○副会長) (計12名)		
欠席委員	川口英孝委員 岡山弘一委員 (計2名)		
事務局出席者の職・氏名	函館市榎法華支所 支所長 渡邊達也 地域振興課長 小辻淳一 市民福祉課長 山本潤一 産業建設課長 平沢浩樹 地域振興課主査 川口勝也 地域振興課主任主事 横道美則 地域振興課主事 天満真吾 函館市教育委員会 榎法華教育事務所長 佐々木 真 函館市企画部 計画調整課主査 坂田 悟 計画調整課主任主事 品田 朋廣 (計10名)		
その他	傍聴者 石川 雅典 川井 雅文 (計2名) 報道機関 北海道新聞社 (計1社)		

○事務局 本日はご多用のところ出席をいただきお礼申し上げます。

開会にあたり、本審議会会長より挨拶を申し上げます。

木下会長、よろしく願います。

○木下会長 平成29年度第1回地域審議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、出席賜りお礼申し上げます。

また、今年は例年に無く天候の不順も激しく、大雨の後に大変暑い日も続いている。本日も大変蒸しているが、窓を開けて結構涼しくなっているが、身体のことには注意し水分を取りながら会議を進めていきたい。

本日の審議会の議題は「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」、「平成28年度合併建設計画地域別事業実績報告について」、「地域振興全般に関する意見交換」が主な内容となっている。

皆様の忌憚のないご意見を賜りたい。よろしく願います。

○事務局 続いて、渡辺支所長よりご挨拶を申し上げます。

○渡辺支所長 榎法華地区においては、いよいよ盛漁期に入るこの時期に、委員の皆様には何かとお忙しい中、お集まりいただきお礼申し上げます。さて、今年は初めての試みとなった榎法華小学校、中学校との合同ふれあい運動会は雨による順延もあったが、地域の皆様のご協力により無事、開催することが出来た。今年の経験を生かし、来年はより楽しく地域が一体となれる運動会を目指したいと考えている。

7月に入り全国的に大雨、集中豪雨による深刻な被害が発生している。北海道においても例外では無く、先日は函館市でも床上浸水などの被害が発生した。幸い大事には至らなかったが、これから本格的な台風シーズンを迎えることとなる。皆様には日頃から気象警報などに十分注意していただくとともに、支所としても的確な情報提供に努めて参りたいと考えているので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日は平成28年度の合併建設計画の事業報告などについて説明をさせていただき予定となっているが、引き続きよりよい地域づくりのために皆様のご意見やご提言をいただければ幸いですと考えているので、よろしくお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

よろしく願います。

○事務局 4月に人事異動があったので、職員の紹介をする。

- ・企画部計画調整課主査 坂田 悟
- ・企画部計画調整課主任主事 品田 朋廣
- ・榎法華支所地域振興課主事 天満 真吾

出席委員の報告をする。出席者12名、欠席者2名で、委員の半数以上が出席しているため地域審議会の設置に関する規定第8条第3項の規定により、会議が成立していることを報告する。岡山委員と川口委員については欠席である。

それでは以降の進行については地域審議会の設置に関する規定第8条第2項の規定により、会長が会議の議長を務めることになっている。木下会長、よろしく願います。

○木下会長 それでは、ただ今から「平成29年度第1回函館市榎法華地域審議会」を開催する。

議題1「前回の意見等の集約結果と取り組み状況について」事務局より報告願う。質疑等については報告が終わってから一括で受けるので、よろしく願います。

○小辻課長 それでは、3月28日に開催された平成28年度第4回地域審議会において委員の皆様から出た意見・要望等に対する取り組み状況であるが、内容については河川工事に関することだったので、産業建設課長から説明する。

○平沢課長 それでは資料1をご覧いただきたい。一番右になるが取り組み状況ということで、平成28年度については地下水調査、施設設計等を実施している。また、平成29年度については地下水調査、環境調査を行い、砂防指定追加申請予定個所の地権者への工事説明を予定している。

○木下議長 ただいまの報告に関し、何か質疑・ご意見等があったらお願いします。

(なし)

無ければ次に進む。

次の議題「平成29年度合併建設計画地域別事業について」事務局から説明願う。

○小辻課長 お手元の資料2をご覧いただきたい。平成28年度合併建設計画地域別事業の実績報告等について、各担当課長から説明させていただく。説明の順番については、産業建設課、次に市民福祉課、教育事務所、最後に地域振興課の順で説明申し上げる。

○平沢課長 産業建設課関連事業の実績報告をさせていただく。

まず「1. 多様で力強い産業を振興するまちづくり」の「(2) 水産業の振興」の項目では、漁協が例年行っている「ウニの深浅移植事業」および「ナマコの種苗放流」に対して、市から323万7千円を補助している。平成28年度はウニの深浅移植を70万個、ナマコの種苗放流を2万5千個行っている。

次の「(3) 農林業の振興」の「市有林の整備」の項目では、農林水産部の事業として、絵紙山町地区の植栽あるいは間伐などを行っている。実績額は271万7千円である。

次に「(5) 観光の振興」の項目では、水無温泉の浴槽部や階段の部分がひび割れ、破損により内部の鉄筋等が突出して利用者にとって危険な状況にあり「水無海浜温泉の改修事業」を行った。実績額は950万円である。

「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」の「(2) 消防・防災・生活安全の充実」の項目では「矢尻小川改修事業」を行っている。これは旧榎法華消防署のところから新浜町を通過して、最終矢尻川に注ぐ矢尻小川の水量を分散する改修工事であり、平成25年度から継続して実施している。平成28年度の実績額は2,614万7千円である。

「(3) 交通・情報ネットワークの形成」の項目で「榎法華港改修事業」を行っている。これについては越波対策として、東防波護岸の高上げ改良を平成21年度から進めている。平成28年度は、岸壁の拡幅工事を実施しており、事業費約6,000万円で、その内市負担900万円を支出している。

○山本課長 市民福祉課関連事業の実績報告をさせていただく。

まず、「3. やさしさとぬくもりのあるまちづくり」の「(3) 高齢者福祉の推進」の項目で、「高齢者送迎サービス事業」については、実績額149万8千円で、のべ利用者数については1,069人、その内訳として榎法華地区が1,017人、それと昨年度から場所を少し拡大した恵山地区までの利用者が52名であった。「高齢者温泉等入浴優待事業」については、実績額

104万9千円、利用枚数2,623枚であった。「混合型介護付き有料老人ホーム運営費補助事業」については、実績額2,826万円で、入居者が18名ということで現在満所である。

次に「その他諸経費（有料老人ホーム修繕）」については実績額150万3千円で、雨漏り等による窓枠等の修理、配水管等の修理を行っている。

続いて「5. 連携と交流によるまちづくり」の「(1) 住民参加の推進」の項目で「集落維持対策事業（楡法華地区パワーアップ事業）」については、実績額28万2千円で、主に、草刈り支援28件、除雪支援14件を行っている。

○佐々木所長 楡法華教育事務所関連事業の実績報告をさせていただきます。

「生き生きと学び地域文化を育むまちづくり」の「(1) 生涯学習の推進」の欄である。「文化祭事業」として3年に1度の開催だが11月に楡法華地区文化祭を開催し、支出は8万2千円であり、来場者は162人であった。「ふれあい大運動会事業」については、10万7千円で雨天により中止となり、実績数はない。「体験教室事業」として、7月8月に「陶芸教室」、2月に「バレンタインチョコを作ろう」を実施し、合計4万8千円で23人の参加であった。「健康推進事業」として、恵山登山を春と秋に実施し、2万1千円で参加は41人であった。「高齢者ふれあいいいきき学級事業」として高齢者を対象に夏冬2回行われた健康講座「軽運動」、そして高齢者と小学生を対象に12月に実施した文化伝承講座「鏡もちを作ろう」をあわせて2万1千円で37人の参加であった。10月に東部4地区による「4地区交流パークゴルフ事業」を実施し、1万7千円で35人の参加であった。1月に戸井恵山楡法華の小中学生対象の「新春書き初め会事業」を行い、2万7千円で47人の参加であった。次に「5連携と交流によるまちづくり」の「(2) 国際交流・地域間連携の推進」の「友好地域子ども交流会事業」の欄であるが、楡法華地区と青森県風間浦村の小学生との交流であり、8月に風間浦村で行い、16万1千円で32人の参加であった。

○小辻課長 地域振興課関連事業の実績報告をさせていただきます。

「2. 安全で快適な生活環境を充実するまちづくり」の「(2) 消防・防災・生活安全の充実」の項目で「防災無線システム経費」として実績額132万8千円となっており、主に防災無線の拡声器電気料、基本回線料、保守点検委託料等である。

次に「(3) 交通・情報ネットワークの形成」の「地域内交通確保対策事業（地域福祉バスの運行）」については、実績額198万3千円で、年間42回運行し、827人の乗車であった。主に運行事業者である函館バスへの委託料、その他消耗品、燃料費、修繕等を支出している。

最後に「(5) 生活環境の整備充実」で、企業局の事業として「浄水施設整備」を行い、実績額1,768万5千円である。

○木下議長 ただ今の説明に関し、何か質疑・意見等はあるか。

○北村委員 「市有林の整備」は、絵紙山の伐採している場所か。

○平沢課長 孵化場の奥の林の整備や植栽をしている。

○木下議長 他にないか。

○北村委員 パワーアップの草刈りと除雪について、ほとんどが人件費か。

○山本課長 委託料である。委託料の内容としては、労務費として人件費と、諸経費として草刈り

用燃料費・車両借上げ料等であり、8～9割が労務費としての人件費である。

○木下議長 他にないか。

無いようなので進めさせていただく。次の議題3「地域振興全般に関する意見交換」である。委員の皆さんから何かあるか。

(なし)

無ければ次に進めさせていただく。次の議題4「その他」であるが、事務局から何かあるか。

○小辻課長 前回、川口英孝委員から要望で、定例会本会議での斉藤佐知子議員の幸福度ランキングに関する質疑の内容は、どのようなものであったかということであった。あいにく川口委員は欠席ではあるが、内容についてお知らせ申し上げる。

平成28年4月市議会定例会において、斉藤議員から幸福度ランキングと魅力度ランキングということで質問があった。一般財団法人日本総合研究会が発表する全47都道府県の幸福度ランキングというものとブランド総合研究所が発表する地域ブランド調査におけるランキングということで、それぞれのランキングが発表されており、地域ブランドについては訪れてみたい街ということで魅力ある街第1位と、3年連続なっている。かたや、幸福度ランキングというものは、中核市の中での一定の事項を機械的に整理していったもので、47都市のランキングをつけているというものである。それに対して、企画部長から次のような答弁をしている。

「日本総合研究所による2016年度版の幸福度ランキングは、人口増加率や財政健全度、合計特殊出生率をはじめ、一人あたり医療費や生活保護受給率などの各種の統計データをもとに、42市ある中核市のランキングをつけたものということである。一方でブランド総合研究所による魅力度ランキング、訪れてみたい、旅してみたい街ということで、街の認知度や魅力度などに対する全国の消費者の方から回答のあったものをもとに公表されているわけである。これらにつきまして、幸福度ランキングにおきましては、函館市は中核市の中で相対的に下位に位置づけられたものの、個々人の幸福感は主観的なものであるため、客観的な尺度で測ることは難しいということ、市民一人一人が直接感じる幸福度とは異なるが、特に健康の分野と仕事の分野で他都市より順位が若干低くなっているということ、健康で安心して暮らせるまちづくりとともに、経済における活性化、安定した雇用の確保、これらが課題であると受け止めている。」ということで企画部長が答弁している。質疑の内容については以上である。

○木下議長 ただいまの報告について、何か質疑・意見等はあるか。

○小市委員 議題3「地域振興全般に関する意見交換」に戻ってもよろしいか。

○木下議長 お願い申し上げます。

○小市委員 富浦地域にある三ツ石の沢と言われているところだが、大雨が降る度にゴロゴロと石が流れてくることが音でわかり、付近の住民が怖がっている。もう10年以上我慢していると聞いた。

以前は支所産業建設課で対応には来てくれたが、道が管轄でありなかなか工事はできないとのことであった。管轄が違っても命に関わることであり、ホテル恵風からの道路もあり、寸断されたら大変なことになると思われる。すぐに回答は出来ないと思うが、なんとか陳情できないものかと思い、今日発言させていただいた。

○平沢課長 3年前の10月に溢水があったときに道で応急措置はした。

○木下議長 陳情すべきだとは思いますが、函館市が現状を把握し、道に報告して改善してもらうのが市の役割だと思われる。住民が住んでいる場所に災害をこうむる危険性が高いのだから、住民が陳情に行かずとも市が道に要請をして、工事をしてもらうというのが筋だと思われる。市が道に陳情してくれないのであれば、市に陳情する必要があると思われる。

○平沢課長 道には危険な状況だということで要望はしているが、今現在でなかなか難しいようだ。

○木下議長 私の意見としては、市が関係部局としっかりと連絡取ってどんな行動を取ったのか、その内容を確認して、陳情の仕方も変わってくると思う。

人命に関わることだから、待ってられない問題だと思われるので、それを早急に確認してほしい。

○平沢課長 わかった。

○木下議長 このような危険箇所等を出してもらう必要があると思う。他に気がついたところはないか。

○北村委員 やはり、前回も発言したが山の木の伐採である。今、銚子も伐採し始めて景色そのものが変わってきたというのと、朝歩いていて一番驚くのが風の流れが以前と全く違い、想像できない強風が吹いてくる。それと同時に矢尻川が、少し雨が降っただけで濁流が海に流され、すごい色になっている。

蛾眉野線を通ると、まず恵山地域の入り口付近は裸山となっており、それから絵紙山付近も銚子もそうである。中学校の付近も伐採しており、あの防風林のような木が全部一斉に倒されてしまった。話を聞くと今後ますます伐採が進んでいくのではないかという情報も入ってきている。

そうすると今までに想像できなかった風災や濁流、ゲリラ豪雨になったときに対応できるのかと思う。特に八幡川は幅が狭く、もしも集中的に雨が降ったらと想像して、いつも怖いなど見ている。ただ、この伐採については、個人のものだからどうすることも出来ないという話があったが、もうそのレベルを超えているのではないかという実感である。

○木下議長 同じ危惧をしているが、伐採した後にたくさんの枝葉、幹がある。あれがまだ川に流れ込まない状況にあるからいいが、なんらかの気候変動や要件で川に流れ込めば即、川が大氾濫である。木などでダムになりそこから水があふれてしまう。そういう対策も含めて全体の危惧されること、椴法華でも集中豪雨があり短時間で良かったが、あれが1日続くなれば東北、佐渡のほうで実際あったが、北上してくるとまた起こり得る。今はまだいいが、来年再来年になるとこのまま放置されたらその危険性も出てくると思われる。なってからでは遅い、なる前に対策というか、ならないような方法をどうとるかということを検討していただきたいと思うが、これはただいまの小市委員の意見、北村委員の意見等も含めて、地域審議会のなかでこれを市に提言するというところでよろしいか。

(はいの声)

では地域審議会に対してそれを提言するので、災害が起こらないような対応を、そういう災害が起きる前に施していただきたいということで、提言するので、ご配慮のほどよろしくお願い申し上げます。

他にないか。

○北村委員 先日、ネットで子どもの人権フォーラムっていうのを見ていたら、最近の小中学校の子どものいじめに関して、我々世代では想像できない、例えばスマートフォンを使うとか、ラインとか、そういうもので陰湿ないじめがはびこっていると。それで、その対応策をどうするのかとなったときに、スクールカウンセラーや心の相談員を活用するという対応が、学校においては良いかと思う。だが、調べたところ、函館においてスクールカウンセラーというのは道教委であるから、函館市教委から道教委にあげないとだめで、おそらく今年度は無理だろう。ただし、心の相談員は市の事業で、湯川の南北海道教育センターにおり、学校が望めば派遣も可能だと聞いた。今年度無理なのであれば次年度から、せめて心の相談員を派遣し、いじめやそういうものがないのかということをや地域を挙げて子どもたちを見守っていきたいと思うので要望させていただく。よろしくお願い申し上げます。

○佐々木所長 承った。

○木下議長 今いじめとか、表面化しているのは椴法華小中学校にはない。ただ、表だったものは無くても中で潜在しているという周りには見えないというものもある。十分配慮のほうは怠りなくお願い申し上げます。

ほかはないか。

(なし)

それでは事務局のほうからなにかないか。

(なし)

それでは本日の議題は以上をもって終了した。次回の開催時期は10月を予定している。

内容については「前回の意見等の集約結果と取り組み状況」、「平成30年度地域別事業計画(案)」、「地域振興全般に関する意見交換」を考えている。

日程を含め、正副会長に一任願いたいと思うが、よろしいか。

(はいの声)

○木下議長 以上で、平成29年度第1回函館市椴法華地域審議会を閉会する。

午後4時35分終了